

\*\*\*\*\*

やらまいか@gri forest ニュース 338号  
(2023年10月15日配信)

\*\*\*\*\*

## 【目次】

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- 1 適正な価格形成のための情報プラットフォームの開設について
- 2 植物防疫所「病害虫情報」第131号の発行について

### ■--お知らせ--■□■□■

- 1 秋の農作業安全確認運動の実施について
- 2 「木材利用促進月間」について
- 3 Webマガジン「aff」9月号について

### ■--お出かけ情報--■□■□■

- ・「アグリフォーレ サイエンスカフェ」第4話の開催について

### ■--西部農林活動リポート--■□■□■

- ・西部農林活動リポート（9月）

---

### ■--ビジネスお役立ち情報--■□■□■

- 1 適正な価格形成のための情報プラットフォームの開設について

農林水産省畜産局が、皆様に畜産の現状を知っていただくとともに、誰もが簡単に情報発信に活用できるようコンテンツを作成しました。  
下記URLにウェブサイトが開設されましたので、ぜひご利用ください。

(リンク先：農林水産省HP)

<http://mailmag.maff.go.jp/c?c=65230&m=115977&v=4ee71a04>

なお、コンテンツについては、随時更新するとともに、今後追加予定とされております。

- 
- 2 植物防疫所「病害虫情報」第131号の発行について

1979年から44年にわたり発行してきた植物防疫所「病害虫情報」が本号から完全デジタル化されました。  
今後は侵入調査の対象病害虫の解説を中心に、より柔軟に病害虫の情報が発信されます。

●第131号の解説記事

- ・ミカンコミバエ種群
- ・ウリミバエ
- ・Candidatus Liberibacter solanacearum (Lso)

●詳細は以下のページを御参照ください。

(リンク先：植物防疫所HP)

<http://maimag.maff.go.jp/c?c=65231&m=115977&v=a9fab93>

■--お知らせ--■□■□■

---

1 秋の農作業安全確認運動の実施について

---

9月1日から10月31日までの2か月間、県内全域で、秋の農作業安全確認運動が行われています。

令和3年の全国の農作業中の死亡事故は前年より28人減少し242人であり、65歳以上の高齢者が85%を占めていました。

就業者10万人当たりの死亡事故者数は10.5人と、他産業と比べ依然として高い状態にあります。

秋は、農作物の収穫期を迎え、農業機械を利用する作業が多くなります。

農作業事故の多くが、単純なミスによるものであり、十分注意することで防ぐことができます。

基本的な注意事項を確認し、事故の原因を一つ一つ取り除き、農作業事故ゼロを目指しましょう。

●鳥獣被害対策として電気柵を設置している場合は、以下の点をもう一度確認しましょう。

- ・見えやすい場所への危険表示
- ・電気柵用の電源装置の使用
- ・30V以上の電源を使用する場合などにおける漏電遮断器の設置
- ・容易に開閉できる場所に専用のスイッチの設置

●チェックポイント

(1) 安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう

トラクターの転落・転倒による死亡事故の多くは、安全キャブ・フレームのないトラクターで発生しています。

こうしたリスクを理解し、機械の導入をしましょう。

(2) シートベルトを着用しましょう

安全キャブ・フレームが装着されたトラクターであっても、シートベルトを着用しなければ、安全キャブ・フレームにより確保される安全域の中に身体が固定されないため、転落・転倒した際に身を守ることはできません。

(3) 農業機械の管理・利用は、適切に行いましょう

毎日の作業前には、必ず日常点検を実施しましょう。

また、定期的に整備工場での整備を行いましょう。

(4) 適度な休息を取りましょう

長時間労働は、注意力を低下させ、事故を発生させる要因となります。

適度な休息をとり、心身ともに健康な状態で作業を行いましょう。

●農作業安全対策の詳細は以下のページを御参照ください

(リンク先：農林水産省HP)  
[https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzen/](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/)

---

## 2 「木材利用促進月間」について

---

国民の間に広く木材の利用の促進についての関心と理解を深めるため、漢字の「十」と「八」を組み合わせると「木」という字になることにちなみ、10月8日が「木材利用促進の日」、10月が「木材利用促進月間」と定められています。

今年もウッド・チェンジ\*を合言葉に、10月を集中期間として、木の良さや木材利用の意義への関心と理解を促す様々な取組が展開されています。

\*：身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造化・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

●関連イベント情報等の詳細は以下のページを御参照ください。

(リンク先：農林水産省HP)  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/press/riyou/230919.html>

---

## 3 Webマガジン「aff」9月号について

---

「aff(あふ)」は、消費者の皆さん、農林水産業関係者、そして農林水産省を結ぶWebマガジンです。

農林水産省が編集・発行し、株式会社角川アスキー総合研究所が編集協力しています。

●9月号の掲載内容

(1) 特集 「木材の魅力を知って活用！ウッドチェンジ」

<今回の見どころ>

- ・日本の森林の資源の量って増えているの？
- ・建築物の内装に木材を使用するメリットとは？
- ・日本に生息する樹木のうち、家具によく使われているのはどちら？
- ・奈良時代に建立された法隆寺の建造物でおもに使われている木材は？
- ・割り箸の使用量が増えた結果、森林破壊が進んでしまったってホント？
- ・木づかい運動でウッド・チェンジ！

(2) 連載「未来へつなぐ和食 第2回」

<食材を生かし歳時記を表現する「会席」と「懐石」>

●詳細は以下のページを御参照ください。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2309/pdf/aff2309-all.pdf>

■--お出かけ情報--■□■□■

---

・「アグリフォーレ サイエンスカフェ」第4話の開催について

---

農林業サイエンスの最先端を聞いてみませんか。

科学について市民と科学者が気軽な場所で語り合う「アグリフォーレ サイエンスカ

フェ」。

第4話は、静岡県立農林環境専門職大学短期大学部生産科学科の竹内学科長が、農林技術研究所において品種開発に携わった「紅ほっぺ」と「きらび香」の生い立ちや、イチゴが作られておにぎりに並ぶまでの仕組みなど、「イチゴのあれこれ」をわかりやすくお話しします。あなたもイチゴミニ博士になりませんか？

●話者

竹内 隆（静岡県立農林環境専門職大学短期大学部 学科長）

●日時

2023年11月18日(土) 13:30～15:00

●会場

浜松科学館1階ホール（浜松市中区北寺島町256-3）  
※駐車場はありません。公共交通機関でお越し下さい。

●予約方法等の詳細は以下のページを御参照ください。

（リンク先：静岡県立農林環境専門職大学（アグリフォーレ）HP）

<https://shizuoka-norin-u.ac.jp/news/detail.php?CN=370425>

■--西部農林活動リポート--■□■□■

---

西部農林活動リポート（9月）

---

県西部農林事務所ではさまざまな業務・活動を行っています。  
その一部を御紹介します。

- ・湖西市岡崎の前向花畑で農福連携を行いました【農福連携】【美邑】
- ・浜松市北区引佐町で県立農林環境専門職大学農山村デザイン演習を行いました

●詳細

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/seibunorin/1034299.html>

●お問合せ

県西部農林事務所 企画経営課  
TEL：053-458-7208

≡≡

※今後、配信を希望しない場合は、下記E-mailアドレスへお知らせください。  
※メールアドレスの変更等の場合も、下記へお知らせください。  
※配信を希望する方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。  
※当メールマガジンは、等幅フォントでご覧ください。

- ◆このメールマガジンへのお問い合わせは、  
西部農林事務所（企画経営課）まで。  
電話：053-458-7208  
FAX：053-458-7168  
E-mail: [seinou\\_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:seinou_kikaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL: <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-770/index.html>

